

「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくり ～成果と課題～



野洲市立野洲小学校
教諭 角 憲幸

発表の流れ

1、「読み解く力」を高め、発揮させる
授業の具体的な取組や手立て

- ①「目的意識」を生み出すために
- ②「分析・整理」の場面において

2、「読み解く力」の視点を踏まえた
授業づくりの成果と課題

1. 「読み解く力」を高め、発揮させる取組や手立て

○適用問題 ○発展問題 ○振り返りの時間



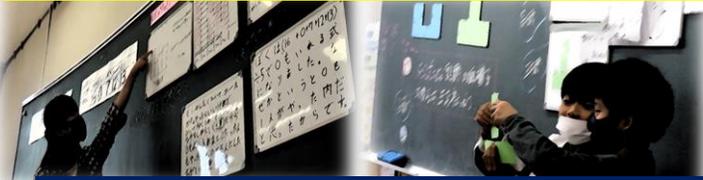
「わかったこと」を活用する場の設定

○学級会 ○普段の授業



安心して発言できる学級集団の場

○ペア・グループ交流 ○全体交流



自分の考えを広げたい
深めたい交流の場の設定

A・文章や図、

ラフ

資質・能力

③再構築

②分析・整理

①発見・蓄積

目的意識

他者とのやりとり

○友だちとのやりとり ○話し合い



本時の課題を明確にする場の設定

○ワークシート ○ノート ○教材 ○掲示物 ○タブレット端末



目的に応じて、自分の必要な情報を取り出せる場の設定

○「問い」を持たせる単元 ○既習内容から本時の課題を生み出す

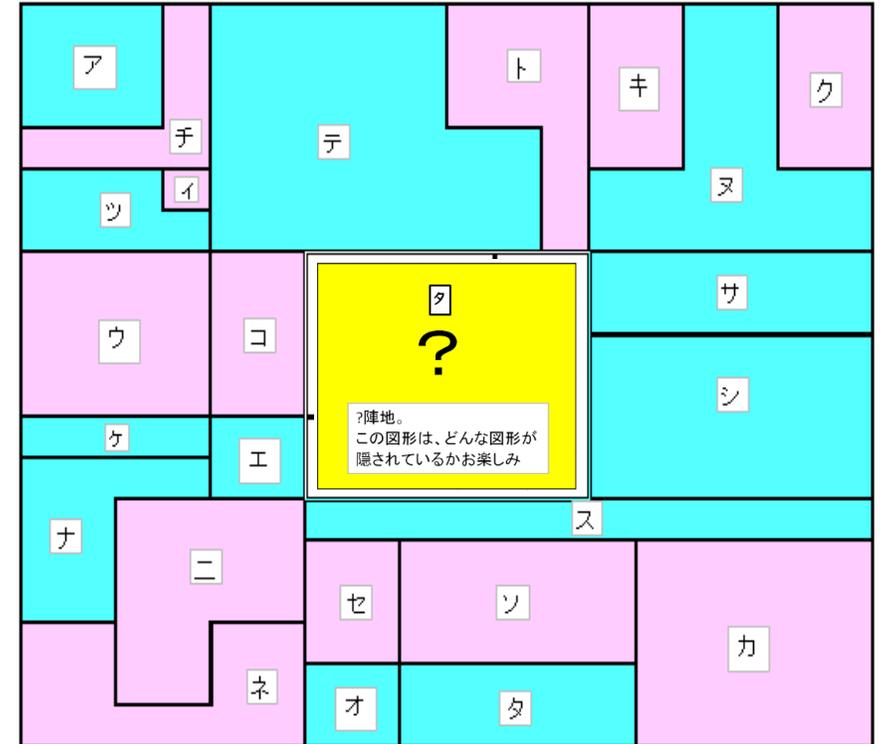


児童に目的意識を生み出す導入の工夫

1. 「読み解く力」を高め、発揮させる取組や手立て

【目的意識】を生み出すために

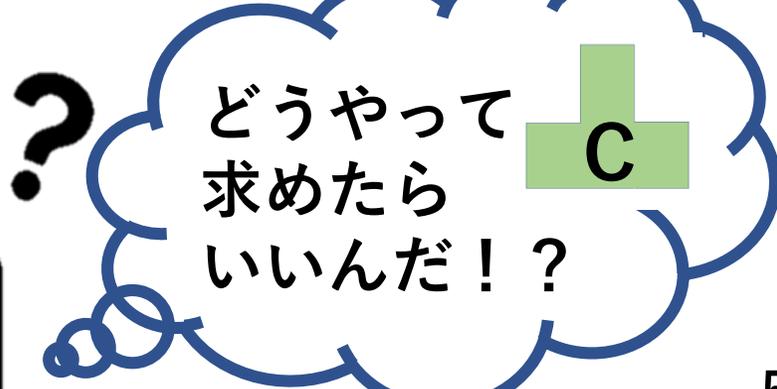
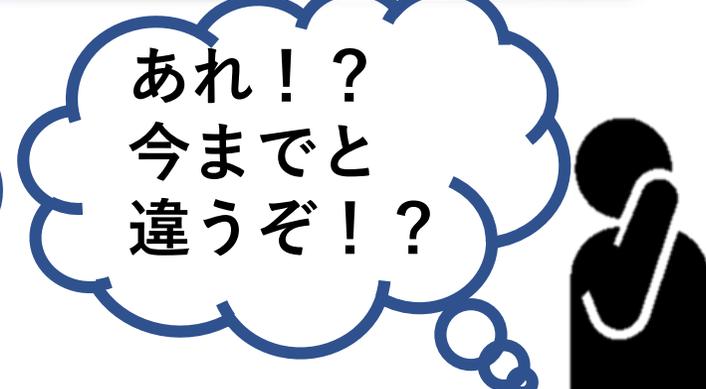
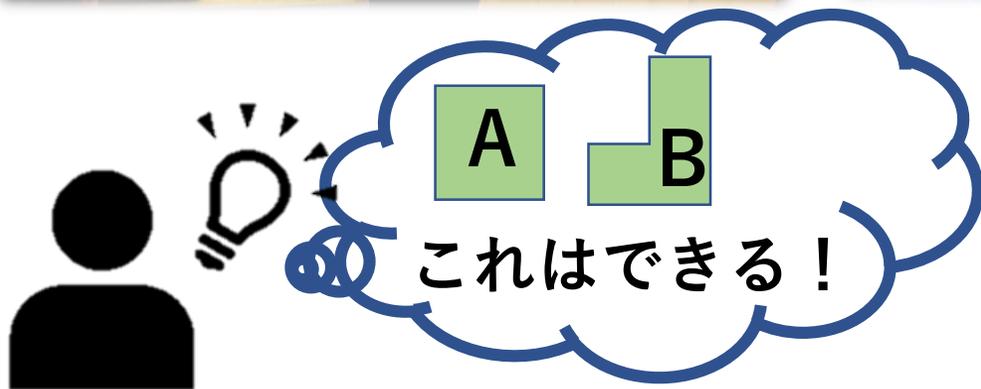
算数科第4学年「面積」（広さの表し方を考えよう）



1. 「読み解く力」を高め、発揮させる取組や手立て

【目的意識】を生み出すために

算数科第4学年「面積」(広さの表し方を考えよう)



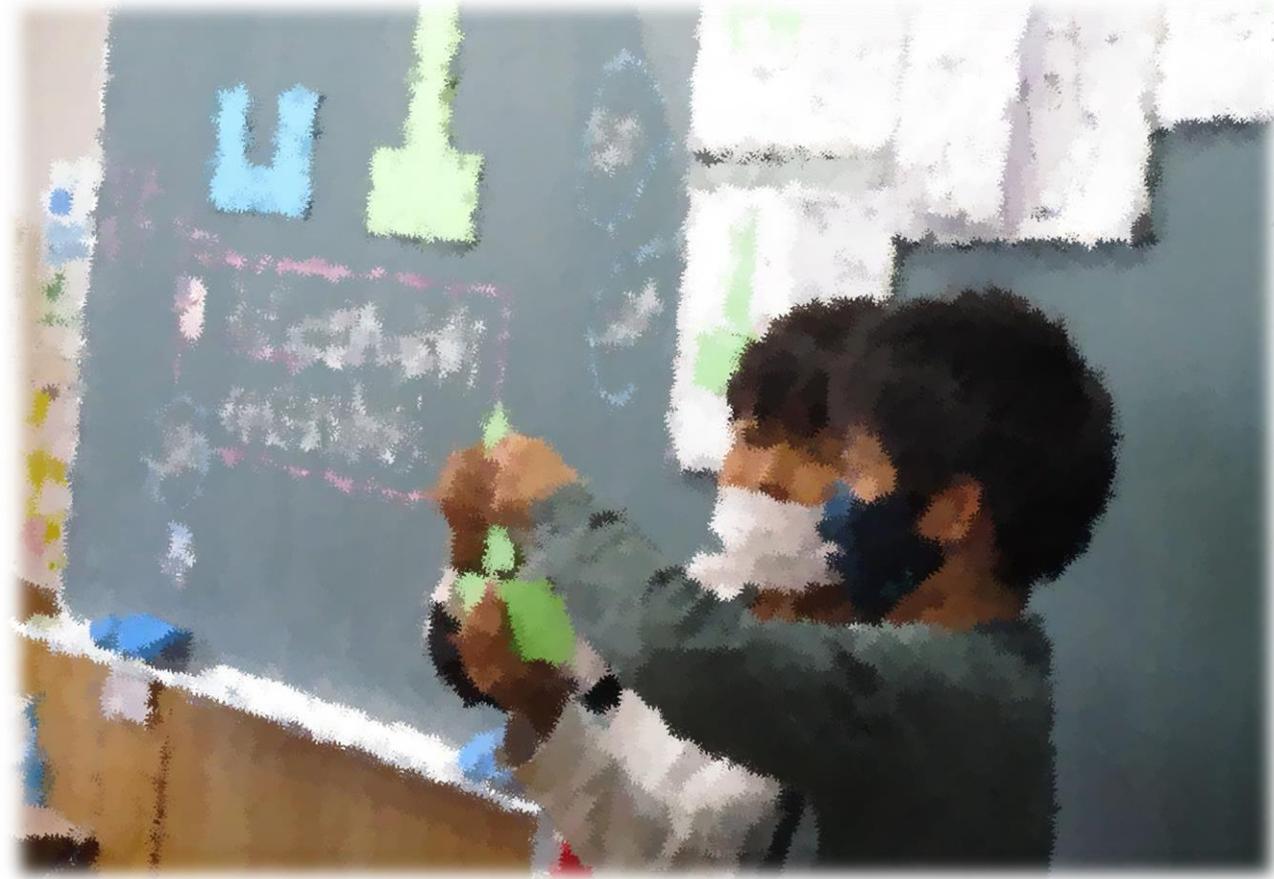
1. 「読み解く力」を高め、発揮させる取組や手立て

【分析・整理】する場面で

自分の考えをもつ・深める時間



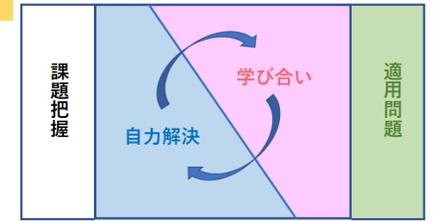
授業開始5分後の児童の姿



授業終盤の児童の姿

1. 「読み解く力」を高め、発揮させる取組や手立て

【分析・整理】する場面で



「分析・整理」をより意識した授業デザイン

【自力解決】 ⇒ 【学び合い①】（「個」と「個」をつなげる）



「何のために」「何を」
「どのように」
交流するかを明確に！

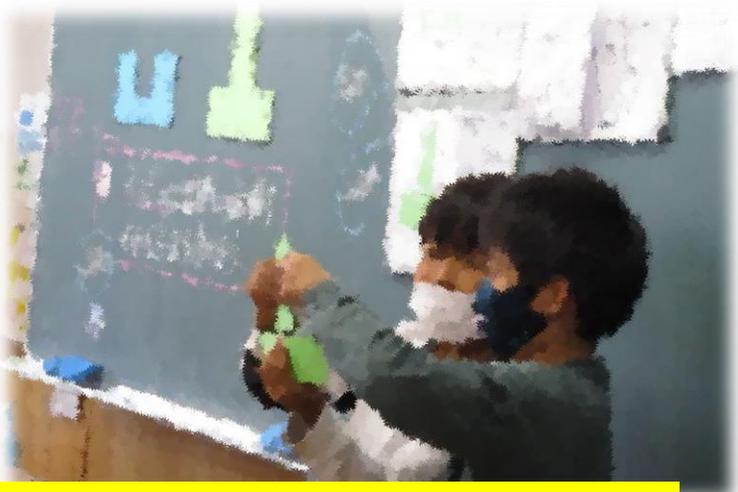
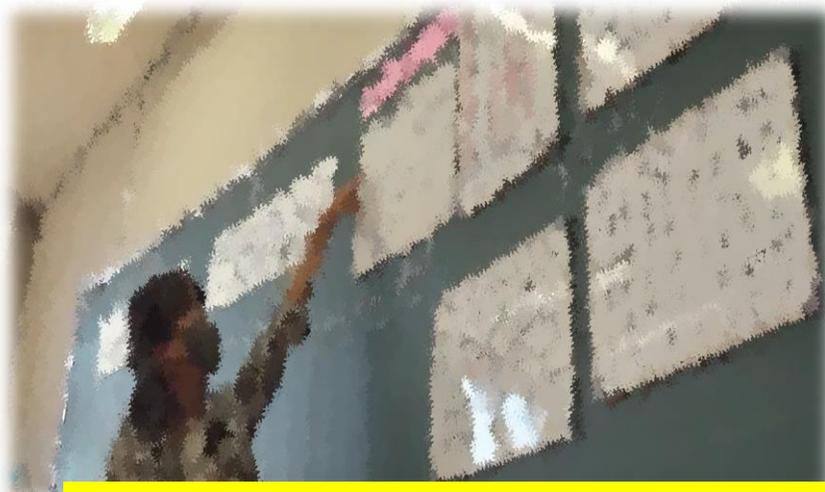


1. 「読み解く力」を高め、発揮させる取組や手立て

【分析・整理】する場面で



【自力解決】 ⇒ 【学び合い②】（「個」と「全体」をつなげる）



考えを仲間分けしたり、友だちの考えを説明したりする場面の設定

**⇒ 多様な考えにふれることができ、
自分の考えを広げたい、深めたいする姿につながった**

1. 「読み解く力」を高め、発揮させる取組や手立て

【分析・整理】する場面で

学習集団づくり



普段の授業

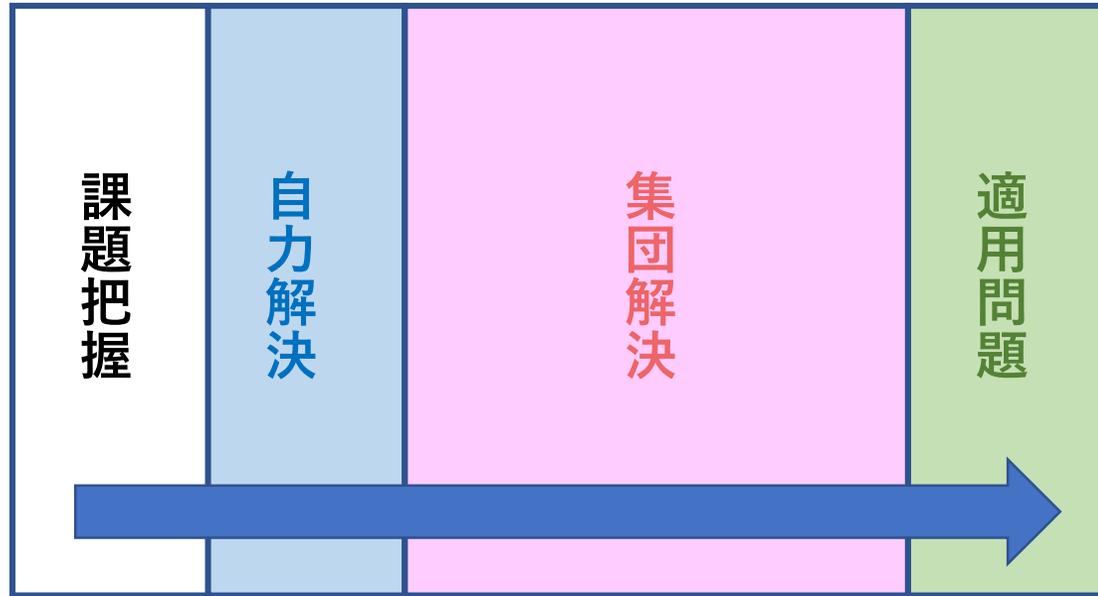


よせ ぼくが算数が好きになつたか
と言いまえはおまり好きじゃなかったけ
ど算数のときまうがえでもいから算数してそれ
をどいんどんしていくとたのし
けこうできるよになつたか

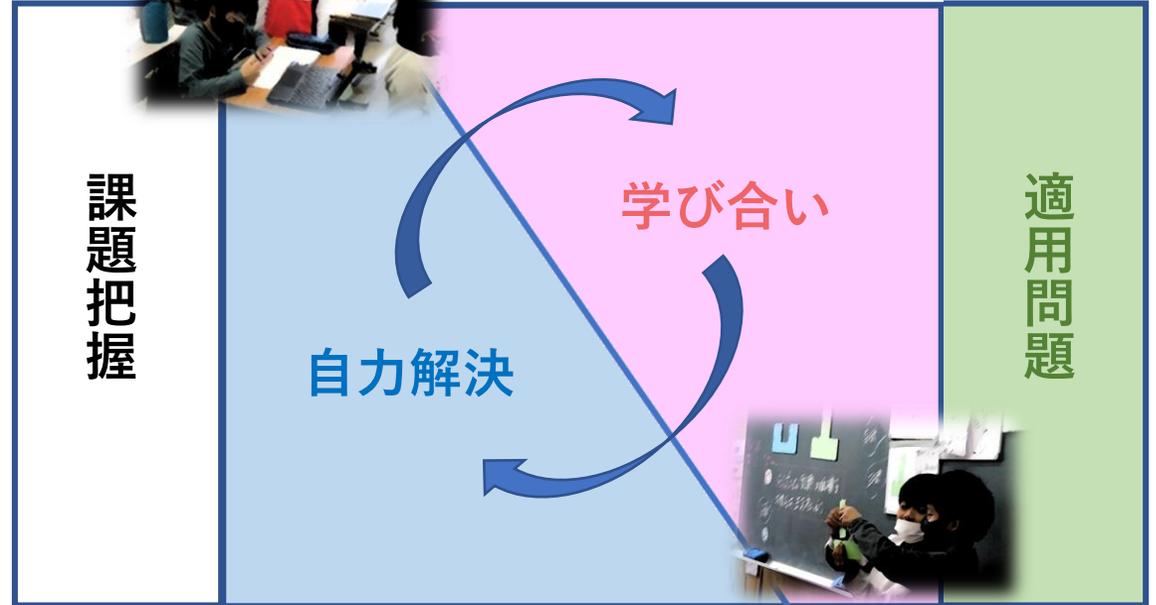
⇒「安心」して発言できる学級づくりを通して、
学習集団の高まりにつながった

1. 「読み解く力」を高め、発揮させる取組や手立て

【分析・整理】する場面で



一斉授業デザイン



「学び合い」をとデザイン

⇒ 学習方法を見童の判断で選択できる授業づくりにつながった

「個別最適な学び」

2. 「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりの成果と課題

成果について

「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりは、…

① 「主体的・対話的で深い学び」につながる。

- 「目的意識」 ⇒ 児童が主体的に学ぶ姿
- 「発見・蓄積」 ⇒ 既習内容をつながりを振り返る姿
- 「分析・整理」 ⇒ 多様な考えに触れ、自分の考えを広げたり深めたりする姿
- 「再構築」 ⇒ 本質的な理解にせまる姿

② 「個別最適な学び」につながる。

③ 「学習・学級集団の高まり」を生み出す。

2. 「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりの成果と課題

課題について

1、**児童間の関係性**が大切

⇒ 中・長期のスパン(時間)がかかる

2、**基礎・基本**の定着がベース

⇒ 「読み」「書き」「計算」などの基礎基本が土台に

3、取組に対する教師間の**温度差**

⇒ 「新しいことにチャレンジ」と構えてしまう教員も



笑 学 生

子どもたちの笑顔のために